



西会津中学校 学校だより

令和5年4月19日発行

4月号 No.1

発行者 校長 園部 毅

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

令和5年度がスタートしました～新入生27名、夢や希望を胸に入学～

例年よりも桜の開花が早く、暖かな春風の吹く中、4月6日に令和5年度の入学式・始業式を挙行了しました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。1年生27名、2年生33名、3年生37名、全校生徒97名による、令和5年度の西会津中学校がスタートを切りました。

本年度も学校教育目標「未来の可能性を創造していく生徒の育成 ～自主・自律・敬愛・健康～」を掲げ、「気づき、考え、実行する生徒」を目指して、生徒が主体的に行動し、学習や諸活動、学校行事等に意欲をもって取り組めるように指導・支援してまいります。

また、変化の激しい時代をたくましく生き抜くための力を身に付けさせるために、確かな学力の育成、豊かな人間性の育成、健やかな心と体の育成を図ってまいります。すべては子供たちの成長のために、教職員が一丸となって教育活動を進めていく所存です。今後とも保護者並びに地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



【歓迎の言葉】生徒会長 大槻 葉紘さん

中学校では教科ごとに先生や教室が変わり、部活動もはじまります。勉強と部活動を両立することは簡単なことではありませんが、楽しさや充実感を実感するときが来るでしょう。



自ら気づき、考え、行動することが大切になってきます。あいさつや言葉づかいにも気を配り、自主・自律を目指して、三年間で多くのことを学び、経験して、実りある時間にしてください。(抜粋)

【誓いの言葉】新入生代表 飯嶋 悠さん

私たちは、近くで活躍されている西中の先輩方に憧れ、自分たちもそうなりたいと思ってきました。中学校の学習や生活に対して、不安なこともあります。先輩方や先生方に教えていただきながら、小学校の卒業式で誓った目標をかなえるためにも、前を向いて一歩ずつ確実に進みたいと思います。勉強や部活動にも一生懸命に励み、学校行事も積極的に取り組みたいと思います。(抜粋)



【入学式の準備】

先日の入学式準備では、新2、3年生が清掃、新入生の教室や式場づくり、教科書配付等に熱心に取り組んでいました。予定時間よりも早く準備を終えることができました。これは、在校生のみなさんが自分たちの進級を自覚するとともに、新入生の入学を心から歓迎したいという気持ちの表れだと思います。準備ありがとうございます。



4月に着任しました(4/6 着任式より)



【転入職員紹介】(写真の左からの順になります)

- 校長 園部 毅 (郡山市教育委員会より)
- 教諭 内海 淳 (坂下町立坂下中学校より)
- 養護教諭 土田 桃歌 (南相馬市立原町第二小学校より)
- 主査 佐藤 幸子 (喜多方市立山都中学校より)
- 支援員 杉山 雅孝 (喜多方市立第二中学校より)

また、美術の非常勤講師として、西尾 佳那先生が10日に着任しています。

第1学期始業式の式辞より

令和5年度のスタートにあたり、次の3つのことをお話ししました。

①「目標」をもつ

大きな「目標」を設定しても、すぐに達成できそうな「目標」を段階的に設定してもかまわない。目標達成に向け継続して行動してほしい。

②「ありがとう」を大切に

「ありがとう」は、「感謝」の言葉であるだけでなく、相手を受けとめる言葉であり、人間関係を円滑にする言葉。身の回りの「感謝」することに気づき「ありがとう」を伝えてほしい。

③「凡事徹底」を意識する

「凡事徹底」は当たり前のことを、当たり前に行動すること。当たり前のことができる人は、周囲から信頼され、自分を伸ばすことにつながる。

生徒会対面式 ～生徒会活動、部活動から自律するために必要な力を～

4月7日には、新入生の対面式が行われました。生徒会活動の紹介に始まり、各部活動の紹介を2、3年生が工夫を凝らして発表しました。ICTを上手に活用したり、細かいところまで部活動の特徴を伝えようとしたりするなど、先輩の新入生に対する思いが伝わってきました。



これからの教育活動について

コロナ禍の中での様々な制限も段階的に解除されてきました。新聞報道等でご承知のことと思いますが、4月からの学校生活のマスク着用につきまして、原則、生徒及び保護者の判断によるものに変更され、これからの学校生活では、マスクの着脱をはじめ、コロナの収束に伴う対応と基本的な感染症対策を講じながらの対応を進めることになります。

過去3年間とは違う形での学校生活が始まりますが、いろいろなことを経験し、学ぶことができる学校生活を送れるようにしていきたいと考えております。しかし、新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。引き続き、感染対策に努めながら教育活動を推進してまいります。

学校だより「雄飛」について

西会津中学校は平成14年にそれまで町内にあった4つの中学校(新郷中学校、奥川中学校、西会津中学校、群岡中学校)を統合して開校しています。本校の校庭周辺には、旧中学校区ごとにテーマを設け、それぞれの学校のあった山野を思い描けるような空間が再現されています。「生徒の実り多き未来を育むとともに、将来にわたり活躍してほしい」という願いをこめて「雄飛の森」と名付けられ、当時の生徒たちと住民の皆様の手によって作られました。当時の思いを引継ぎ、今の西会津中学校の生徒にも「大きな志を抱いて未来に向かって大いに活躍してほしい」との願いを込め、学校だよりの名前を「雄飛」としています。